

鹿児島港（臨港道路）の整備状況

令和5年11月4日

九州地方整備局
鹿児島港湾・空港整備事務所

- ①鹿児島港臨港道路(鴨池中央港区線)の整備状況
- ②橋梁部の現在の整備状況 (橋脚・橋梁上部)
- ③道路部の現在の整備状況
- ④現場説明会のご案内

鹿児島港 臨港道路（鴨池中央港区線）整備状況①

◆鹿児島港の臨港道路については、平成8年に完成した「谷山臨海大橋」をはじめに平成12年に「天保山シーサイドブリッジ」、平成26年に「黎明みなと大橋」が完成し、平成29年度より「鴨池中央港区線」の事業へ着手している。

【事業計画】

- 整備内容：臨港道路（鴨池中央港区線）（延長2,400m、3.5m×2車線）
- 事業期間：2017（平成29）年度～**2030（令和12）年度**
- 総事業費：**370億円**



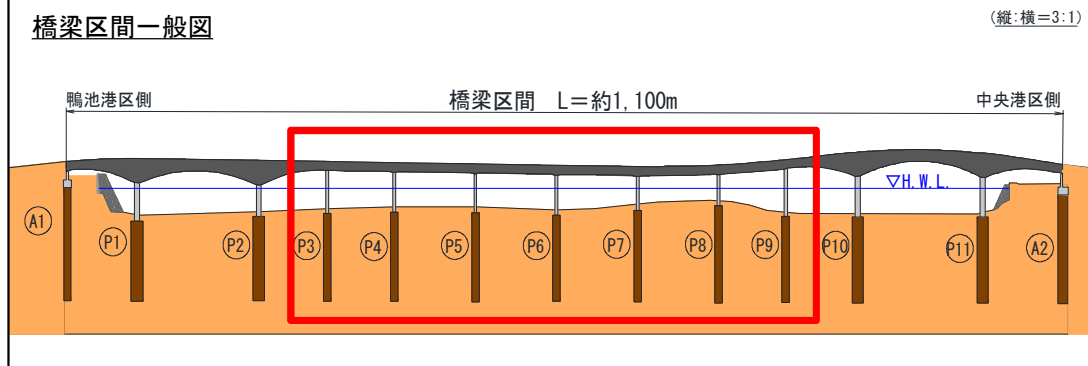
臨港道路（鴨池中央港区線）の整備



橋梁区間計画の諸元

- 全延長：2.4km
- 車線数：2車線
- 橋梁区間 L = 1.1km
- 構造形式
 - ・PC3径間連続ラーメン箱桁 (A1～P3、P9～A2)
 - ・鋼6径間連続細幅箱桁 (P3～P9)

橋梁区間一般図

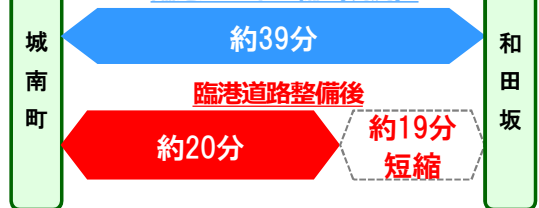


臨港道路鴨池中央港区線の整備により

背後幹線道路の所要時間が短縮!!

<国道225号>

臨港道路未整備（現況）



鹿児島港臨港道路（鴨池中央港区線）整備状況②

鴨池中央港区

鹿児島港 臨港道路 L=2,400m
道路部① L=約950m
埋立護岸部 L=約720m

臨港道路整備事業

PC3径間連続ラーメン箱桁
L=289m

橋梁部 L=約1,100m
鋼6径間連続合成鋼幅桁
L=509m

マリンポートかごしま

国際クルーズ拠点整備事業(R3d完了)

道路部②
L=約350m

マリンポート大橋

【臨港道路整備事業(鴨池中央港区線)

橋梁部 下部工 P4,P6,P8... R2.6 ~ R3.3完成
P5,P7... R3.9 ~ R5.3完成
P3,P9... R4.12 ~ 現地着手

上部工 鋼6径間(P3~P9) R5.9契約済
今後、工場製作・現場施工予定

道路部① 護岸築造工 令和3年5月より現地着手

◆ 橋梁（橋脚）部の施工は、鋼管矢板井筒工法により海上クレーン船を使用して工事を行っている。
施工手順については、以下のとおりである。

1 仮設工

導杭・導枠設置



海底地盤へ『鋼管矢板』を鉛直に打ち込むための定規となる導杭・導枠を設置します。

2 基礎工

鋼管矢板打設



『鋼管矢板』を海底地盤に打ち込みます。鋼管矢板は橋脚1基当たり24本を使用し、円形に打ち込みます。これを『鋼管矢板井筒』と言います。

3 基礎工

井筒内掘削



橋脚を造る空間を確保するため、『鋼管矢板井筒』の中の海底を掘り下げます。掘り出された土砂は所定場所に適切に処理します。

4 基礎工

底盤コンクリート打設・井筒内排水



井筒内掘削が完了したら、井筒の底から水が湧き出てくるのを塞ぐ蓋の役割を果たす底盤コンクリートを打設します。その後、井筒内の海水を全て抜き、空洞にします。

5 躯体工

橋脚築造
（躯体コンクリート打設）



鋼管矢板井筒内に鉄筋コンクリート製の橋脚本体を造ります。足場、鉄筋及び型枠の設置を行いコンクリートを打設するというサイクルで、下から順番に造り上げていきます。

6 基礎工

鋼管矢板切断・撤去



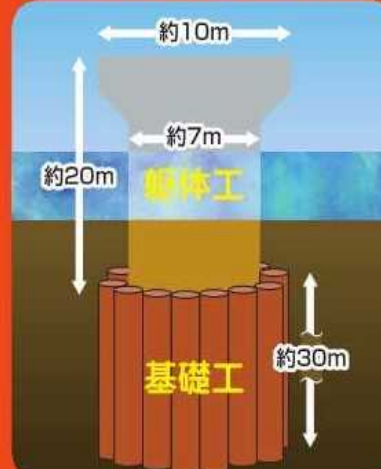
橋脚本体が出来上がったら、海面上まで突き出ていた『鋼管矢板井筒』を海底面付近で切断し取り除きます。

7 橋脚完成



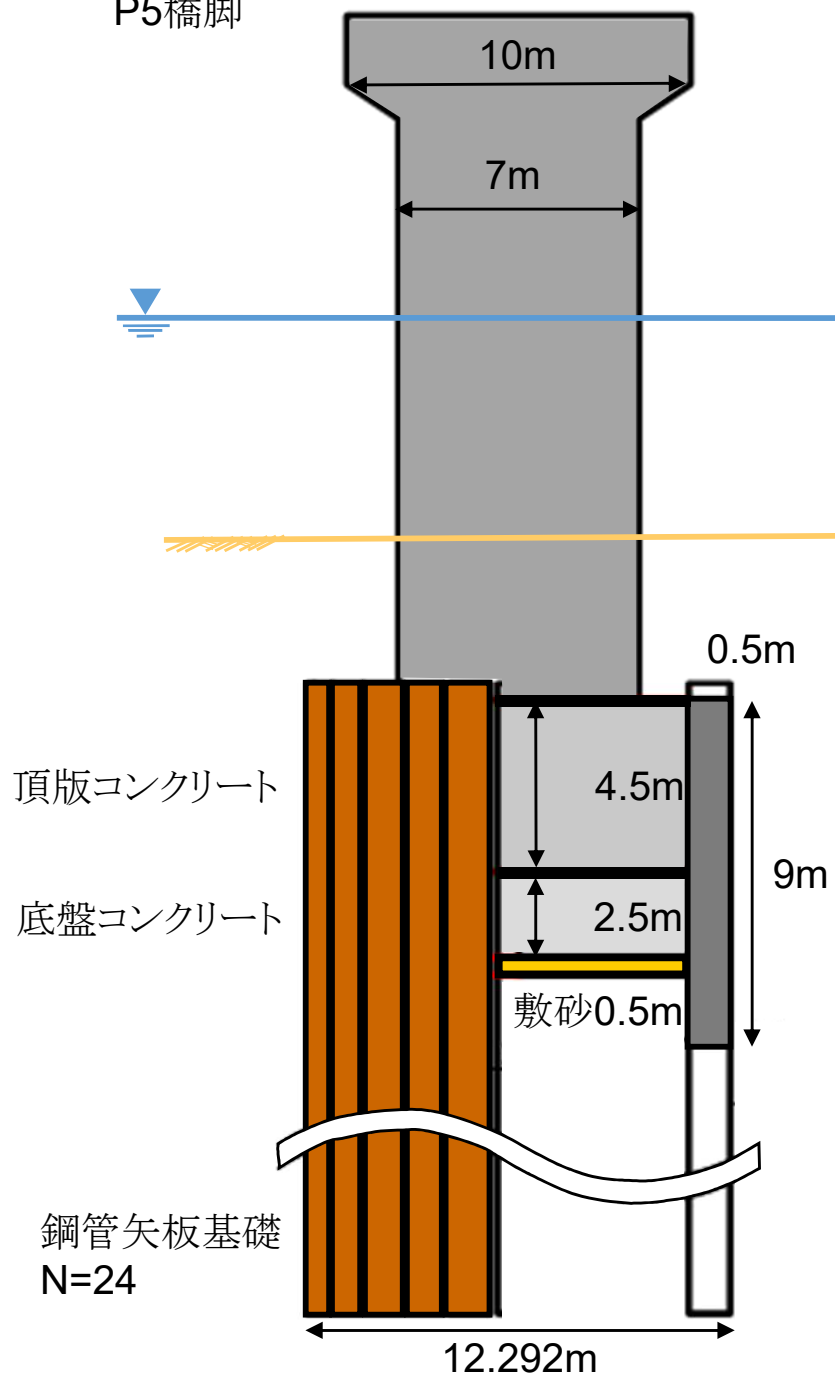
橋脚の完成です。

橋脚の大きさは??



橋梁部の現在の整備状況② (橋梁部P3,P9)

P5橋脚



【橋梁下部工工事状況(R5.11時点)】

P3: 躯体コンクリート打設

P9: 躯体コンクリート打設

【今後の予定】

躯体コンクリート打設

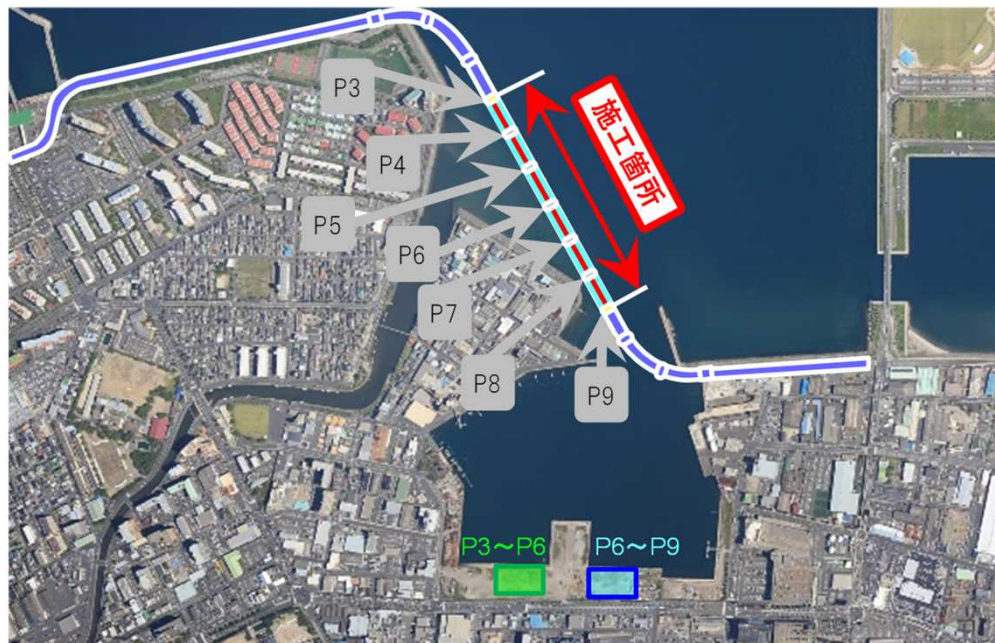
鋼管矢板撤去

R6.2頃完成予定

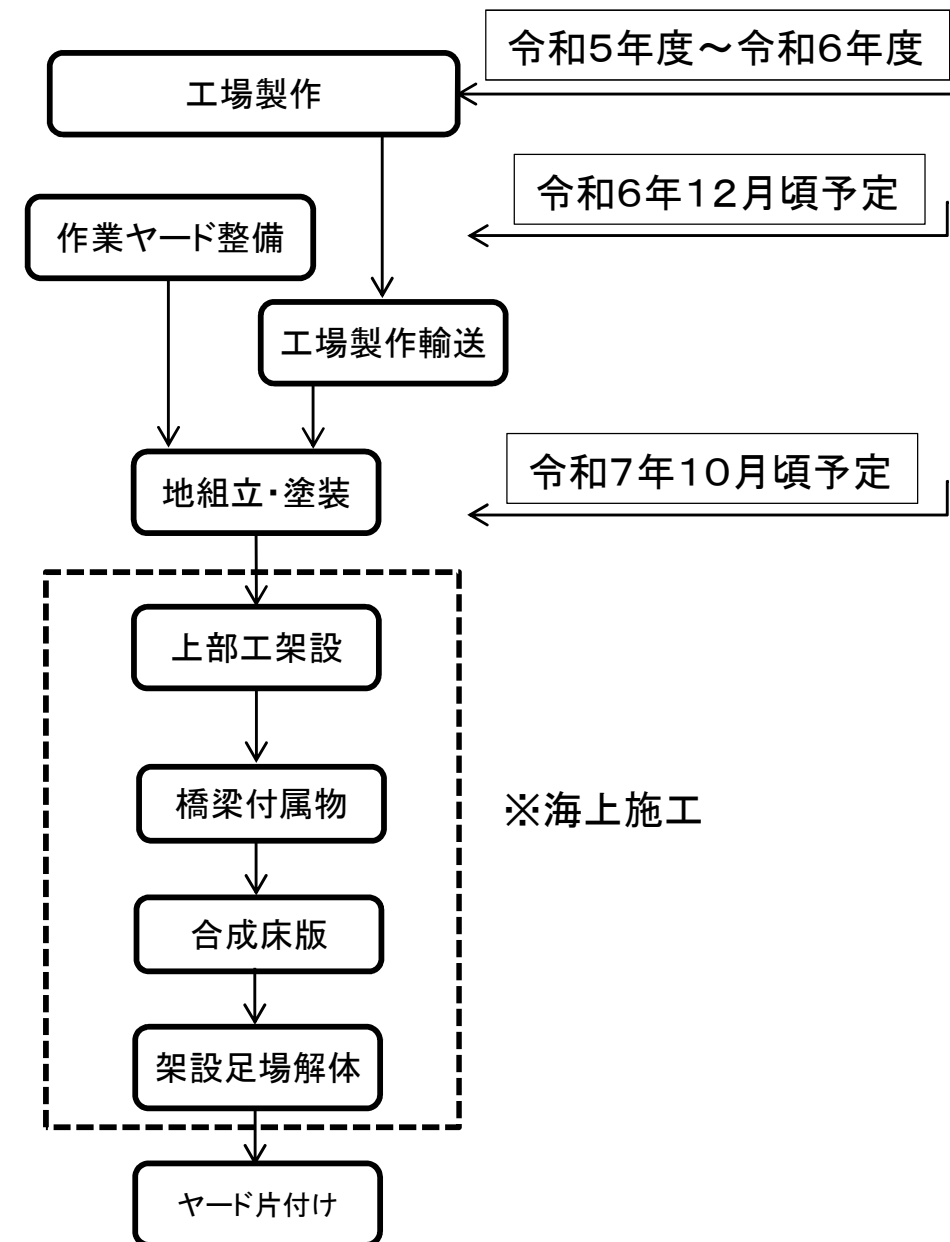
現在の整備状況（橋梁上部P3～P9）



橋梁上部架設イメージ



地組ヤード位置図



現在の整備状況（埋立道路部①）

撮影：令和5年10月



◆臨港道路における埋立護岸部の施工は、海上クレーン船等を使用して工事を実施しており、施工手順については、以下のとおりである。

こうそう ぶつてつきょ

構造物撤去工

既設消波ブロック撤去



潜水土により消波ブロックにワイヤーを括り付け、起重機船という作業船により撤去し、別の場所に一時的に仮置きします。

き そ

基礎工

基礎捨石投入



護岸を支える基礎マウンドを作るため、潜水土の指示のもと、ガット船という作業船により、海上から捨石(石材)を投入します。

本体工

本体ブロック据付



別の場所で製作した護岸の本体ブロックを起重機船で運搬し、潜水土の指示のもと所定の位置に据え付けます。

上部工

上部コンクリート打設



アジテータ車(生コン運搬車)とコンクリートポンプ車を起重機船に積み込み、海上運搬します。現地で護岸本体の上にコンクリートを打設します。

うら ごめ

裏込工

裏込石投入



起重機船で本体ブロックと既設護岸との間を裏込石を投入して埋戻します。

しょう は

消波工

消波ブロック据付



一時的に仮置していた消波ブロックを、潜水土の指示のもと、新しく設置した護岸の前面に設置します。